



中小企業者様の経営の安定化・活性化をサポートします。

けんしん中央会融資

お使いみち

- ① 大分県中小企業団体中央会の会員組合並びに、その組合員である中小企業者の方に必要な
運転資金および**設備資金** (当組合の旧債決済は不可)
- ② 「経営革新」等の認定を受けた中央会の会員組合並びに、その組合員である中小企業者の方への補助金交付までのつなぎ資金

お申込みいただける方

- ① 大分県内で事業を営む方
- ② 協同組合等の中央会の会員組合
- ③ 上記②の組合員で、業歴3年以上かつ組合加入歴1年以上の中小企業者
- ④ 大分県信用組合の組合員もしくは新規加入の方

ご融資額 500万円以内

ご融資期間・ご返済方法

- 手形貸付 1年以内 ▶ 期日一括返済
証書貸付 7年以内 ▶ 元金均等分割返済

審査の結果、ご希望にそえないこともありますのであらかじめご了承ください。

ご融資利率

融資期間 1年未満	年 4.00%
融資期間 1年以上	年 4.50%
融資期間 3年以上	年 5.00%
融資期間 5年以上	年 6.00%

※融資期間1年以上のご融資利率は、当組合が定める新長期プライムレートを基準とした変動金利型を適用しますので、市場金利の動向によっては、お借入期間中に融資利率が変動する場合があります。

連帯保証人

原則1名 個人事業者は専従者・配偶者も可
法人は代表者

担保 不要

必要書類

- ① 決算書・確定申告書
- ② その他

※詳しくはお問い合わせください。



光満ちた今日を生きる

- 1 特集 / TOP INTERVIEW
有限会社 三重オートサービス
ダイニチ工業株式会社
NPO法人 長崎鼻B・Kネット
- 4 キラリ、新風力 ふわり、爽風力
- 5 けんしん同友会企業紹介
- 7 けんしんからの「知っ得情報」

“人生のパートナー”である車を販売からメンテナンスまでサポート

カフェのようなオシャレな店内。ショーウィンドウにはクラシックカーのほかミニカーや懐かしの雑貨が展示され、キッズコーナーも備えられている。

「『整備工場=汚い』というイメージを払拭したくて開店当初から女性目線を重視しています。長い付き合いになる車を扱う場所。居心地のよい空間づくりに気を配っています」

そう語るのには首藤大介専務だ。当社は父親の首藤隆広社長が昭和55年に設立。以来、自動車整備を業務としてきた。整備工場とは別に平成24年、国道326号沿いにこのオアシス店をオープン。展示場を設けて中古車販売に本格的に乗り出したのも2代目となる首藤専務の牽引によるところが大きい。

首藤専務は地元での公務員勤めを経て平成13年に入社。その前に1年間、オーストラリアで留学生活を送った経験を持つ。帰国後、東京で経営コンサルティング会社への再就職が決まった矢先に親元へと呼び戻された。経歴は畑違いに見えるが、もともと大の車好き。入社した後に整備士や検査員などの資格を取得。現在は販売を担当する。

コアなファンをターゲットに輸入車のほか国産車でも限定車など希少性の高い車種に着目。徹底したマーケティングとデータ分析に基づいた仕入れが功を奏し、順調に売上を伸ばしている。販売とメンテナンスを両方行うところに安心感を抱く顧客も多い。こ



女性も気軽に立ち寄れるカフェ風の雰囲気のオアシス店

うした取り組みが評価され、平成26年3月に「経営革新計画」の承認を受けた。

輸入車の魅力は「単なる工業製品ではないところ」と首藤専務は言う。

「“人生のパートナー”という感じ。操る楽しさもあります。最近の輸入車は以前と違って故障しにくくなっていますから皆さんにもどんどん乗ってほしい。クラシックカーのケアにも万全の体制を整えていますよ」と話す。

大分市内に店舗を増やすことを将来の目標に、これからも邁進を続ける。



吹付法砕石工事



落石対策工事

「技術の向上とともに会社も良い方向に進みます」と力強く話す林田社長

宇佐市同友会

【建設業】

ダイニチ工業株式会社

代表取締役 林田 貢一氏

DATA

〒 宇佐市大字四日市3250-1

☎ 0978-33-2661

🕒 8:30~17:30

📅 日曜、第2・4土曜、祝日

🅐 あり



キッズコーナーを備えているので小さな子ども連れでも安心



希少なクラシックカーの展示に目が釘づけになる



店内に並ぶ懐かしの雑貨も専務のコレクションによるもの

自身の愛車も輸入車という首藤専務。「雑誌で見るだけでなく、時間が許す限り実物に触れたいですね」

大野同友会

【自動車修理業】

有限会社 三重オートサービス

専務取締役 首藤 大介氏

DATA

〒 豊後大野市三重町赤嶺1223-4

☎ 0974-22-3890(オアシス店)

🕒 8:30~17:30

📅 年末年始・盆のみ

🅐 あり

http://mieauto.com/

保護工事で新技術を駆使し 環境の調和と緑の創造に貢献

大分県内をエリアに、道路の法面や自然斜面、家屋背後の斜面などの保護工事を専門とする会社。昭和59年の創業から今年ちょうど30周年の節目の年を迎えた。

現在の林田貢一社長が2代目として父親から社長を引き継いだのは29歳のときだった。

「私はもともと文系志向で会社を継ぐ気持ちはなかったのですが、父親である先代社長が42歳で病に倒れたとき、進路を変更して専門学校で建設を学びました」と林田社長は振り返る。

卒業後、大手の法面工事会社勤務を経て平成10年に入社。社長就任後も現場や営業で経験を積んでいたが、先代が再び病に倒れ、急きょ経営に本格的に携わるようになった。

「それまで経営をきちんと勉強していたわけではなく、ゼロからというよりマイナスからのスタートという感じでした。そこからの10年間は非常に厳しかったですね」と林田社長。

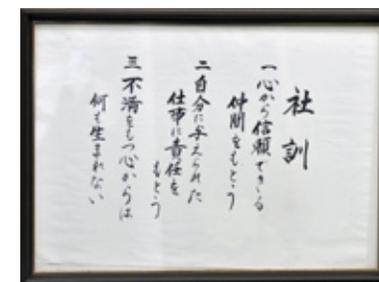
平成19年に先代が他界。その後、組織が揺らいだ時期もあったが、周囲の

人材に恵まれて立て直しの力を注いだ。

老朽化したモルタル法面を補修して延命化する「バスク工法」や、従来のコンクリートではなくジオグリッドを使って全面緑化により景観の保全が図れる「GTフレーム工法」など、新技術を取り入れた提案を行い、特化した形で営業を進めた。産業廃棄物が減ることによって環境にやさしく、工期の短縮やコスト削減にも有効な新技術への期待は膨らんでいる。

法面保護工事に機械を用いることはあまりなく、大部分が人力によるもの。現在、社員は男性10人、女性3人の計13人だが、「従業員には本当に助けられています」と林田社長は話す。

開発の一方で自然との共存は避けては通れない重要な課題。地域環境の調和と緑や自然の創造に貢献する企業を目指し歩んでいます。



先代社長の思いが詰まった「社訓」は現在も社のバックボーンとして息づいている



宇佐市にあるダイニチ工業株式会社の本社社屋

地元の良質な植物油を使って 国東半島全体を元気にしたい

国東半島北端の長崎鼻で植物油を使って地元の活性化に取り組む。平成22年に任意団体としてスタートし、昨年7月にNPO法人となった。近藤哲憲理事長は豊後高田市出身。長年、関西で流通業に携わり、帰郷後、キャンプ場の活性化を任された。40年来の耕作放棄地を開墾して菜の花、ひまわりを植え付け、その植物油に着目。菜の花はナナシキブという純国産の菜種を選択し、ひまわりは良質の油が採れる高オレイン酸の種を選んだ。搾油には化学溶剤を一切使わず、昔ながらの焙煎圧搾法でじっくり丁寧に搾る。人の体に必要なオレイン酸、リノール酸、α-リノレン酸をバランスよく含み、酸化が少なく、遺伝子組み換えでもない。「体にやさしい植物油」が注目を集めている。

「菜の花油はニンニクやトウガラシに合わせると独特の味と香りを出します。ひまわり油は淡白でさまざまな素材に合うので料理に使いやすい。どちらも天ぷらや炒め物に使うとカリッと仕上がります。手や顔に塗ってもいいんですよ」と近藤理事長。

菜の花油やひまわり油は敷地内のイタリアンレストラン「fiore (フィオーレ)」で地元食材と一緒にパスタなどの料理に使われるほか、ショップやネット



「国東半島はひまわり、菜の花、椿、オリーブと4種類の油がある日本唯一の地域」と近藤理事長

豊後高田市同友会

〔植物油6次産業〕

NPO法人
長崎鼻B・Kネット
理事長 近藤 哲憲氏

DATA

〒豊後高田市見目4060
☎ 0978-54-2200
☎ 9:00~17:00 〔木曜〕 〔Pあり〕
<http://nagasakibana.bungotakada.net/>

でも販売。これらを元にハーブやスパイスを合わせたフレーバーオイルや、ドレッシング、調味料などの加工品も次々に発売している。また、国東半島にたくさん植わっている椿も地元のものを買って椿油として商品化した。当初2人だったスタッフは現在14人。今年4月にはオイルラボ(研究所)を稼働し、開発を活発化している。

「植物油6次産業と五感リゾートをテーマにした観光業が活動の両輪。植物油の収益が観光業の財源となり、観光での交流が産業の活性化につながります。国道213号沿線を花街道とし



てネットワーク化し、さらには国東半島全体を『油半島』として盛り上げていきたいんですよ」と夢は尽きない。



良質の菜の花油、ひまわり油と、それらを使った商品の数々



「花の岬」と呼ばれる長崎鼻。夏はひまわり、春は菜の花が一面広がる



有限会社 友善社
代表取締役
和氣 伸哉さん



長いお付き合いの中で
家族や親族の幸せを願う。
それが私たちの仕事です。

東京のアパレルメーカー勤めを辞めて家業を継ぐと言ったとき、父親は365日24時間休みなしの厳しい仕事だと大反対しました。帰ってきて百貨店で1年間、接客業を経験。その後、入社して2代目社長に就任するころ、葬祭業界では斎場を備えた提案型が主流になっていました。当社では当時まだ自宅葬

DATA

〔葬祭業〕

有限会社 友善社

〒宇佐市大字岩崎262-7
☎ 0978-37-0049
☎ 365日・24時間
〔木曜〕 〔Pあり〕
<http://www.yuzensya.co.jp/>
☎ 0120-370-444

キラリ 新風力 New Wind & Fresh Power ふわり 爽風力

「お客様に選んでいただく」
そのための努力を惜しまず
家づくりに誠実に寄り添いたい

新築やリフォームのご相談に応じてプランニングから図面化、積算見積もり、施工を行っています。介護保険を利用したリフォームには補助が下りるため市町村への代行申請も行います。ほかに古いものを使って改修するリノベーションや、耐震化を目的としたリフォームもあります。

当社は昭和50年、大工だった父が設立しました。私は高校卒業後、カナダで輸入住宅を勉強し、福岡県の建設会社での修業を経て23歳のとき入社しました。父の下で現場を任せながら建築士とインテリアコーディネーターの資格を取得。父の技術者としての心意気を受け継ぎ、3年前に社長に就任しました。

家は一生に1回の買い物。施主様の

信頼を得て選んでいただき、誠実に仕事をする父の姿を見てこの道を選びました。根幹となるスキルやデザイン性を向上させ、最新情報を身に付ける努力が必要です。明るい家庭のための頑丈で快適・安心の家をつくっていきたい。6歳と5歳の2人の娘にも自らの意思で人生を選択してほしいです。

趣味は10年前に始めたサルサダンス。何事も身を投じてみるバイタリティが大事。国内外どこに行ってもダンスで友だちがくれるのはいいですよ。

有限会社 野津住建
代表取締役 森尾 英樹さん

が主体で、売上も花輪やギフトが中心。そこから方向転換し、平成9年に斎場を新設して売上を伸ばしました。

「永遠の会」は入会金5000円で一生利用できる会員制度です。月々の積立金や年会費は一切不要。無期限で家族も使えます。現在、2000人を超える皆様にご入会いただいています。

終活フェアや葬儀の事前相談なども開催しています。「人生の終わりでイキイキ過ごそう」というのが私たちの終活の定義。今は低単価の家族葬も多いですが、葬儀であることは一緒。長いお付き合いの中、家族や親族が仲良くハッピーに過ごしていただく契機となるよう、11人の従業員と共にお手伝いします。創業30年。人生の終止符に携わるという意識に変わりはありません。

趣味はゴルフ。大人になってあんなに外にいることってない。ゴルフはいいですね。

DATA

〔建設業〕

有限会社 野津住建
〒臼杵市野津町大字宮原1218
☎ 0974-32-3712
☎ 8:00~17:30
〔日曜〕 〔Pあり〕
<http://www.n-juken.com>



介護事業

NPO法人 養老会

利用者の心を受け止めて 寄り添う介護を実践する



利用者の皆さんで心合わせるひととき

平成13年に認知症対応型グループホーム「養老の泉」「養老の泉パートII」(定員各9人)を開設。また、平成16年にオープンした「よしちゃん」には、通所介護を行うデイサービスセンター(定員30人)と、共同生活介護を行う有料老人ホーム(入居者19人)が設けられている。人間が本来持つ自然治癒力を高めて心身と向き合いたいという衛藤英美子理事長の方針のもと、無添加の食材を使うなど食事にも細心の注意を払い、40人以上のスタッフと心を合わせた介護を実践している。

「ご利用いただく皆さんの心をきちんと受け止め、寄り添う介護を行っていききたい。『論語』に出てくる『仁(思いやり)』の精神で相手の気持ちを汲む介護を目指しています」と衛藤理事長は話す。



所 豊後大野市大野町屋原383-1
☎ 0974-34-2270
営業 365日・24時間
休 なし
P あり



海産物卸売業

有限会社 山田屋商店

ホンモノを見極めて50年 “自然のものを自然のままに”



自社で製造加工する「山椒ちりめん」は手作りの味

扱うのは、にぼし、いりこ、ちりめん、めざし、塩さば、あじといった塩干品や塩蔵品、海藻など計320種類にも及ぶ。「手軽な即席だしの普及に押され、昭和40年の創業当時に比べると扱いは4分の1ですが天然だしが一番おいしい。安いものをたくさん使うより良質のものを少し使ってください」と山田幸雄社長。

県内外の港に揚がった新鮮な海産物を二次加工し、県内スーパーや九州圏内の問屋に卸す。「50年続くには本物でないダメ。この商売で大事なのは目利きです。目で見て鼻でかいで、仕入れる素材を見極める。一人前になるまでに20~30年はかかります。同じ魚でも獲れた時期や脂ののり具合で加工のし方を変える。冷凍庫も温度の違うものを数基揃えてきめ細かい品質管理を徹底していますよ」



所 宇佐市貴船町2-11-11
☎ 0978-38-0369
営業 8:00~16:00
休 日曜、祝日
P あり



農産物生産加工販売業

あねさん工房株式会社

緒方町の自然の恵みを まごころ込めて伝えたい



幼いカボスを丸ごと甘露煮にした「やまのまりも」は、甘さと香味が調和する大人のスイーツ

緒方産農産物の加工販売を通じて農業や食の大切さを伝える会社。進藤充啓社長が理事を務めるNPO法人が都会暮らしの人を対象に田植えや味噌作り、カボス狩りなど農業体験の場を提供する「学校」で緒方産の加工品が好評だったのがきっかけ。カボスのマーメイド「かぼすコンフィチュール」が平成20年度「おおいたワンコインふるさと商品コンクール」で最優秀賞を受賞。平成21年に株式会社化し、加工施設を整備した。原料や製法に気を配った特産品を活用する商品開発に注目が集まる。

「田舎のものがおいしいのは自然をそのまま食べるから。自分たちが栽培したものをお客様と対話しながら誠意をもって手渡したい。自然の恵みに感謝して旬のものをいただく素晴らしいお伝えしたいです」と進藤社長。



所 豊後大野市緒方町原832-3
☎ 0974-45-2928
営業 8:00~17:00
休 土・日曜、祝日(収穫期の8月15日~10月は休みなし)
P あり
<http://www.anesan-kobo.com/>



酒販業

田染荘

美味しいお酒を追い求め 昔ながらの百貨店を 酒専門店に



お酒好きの通人うならせる豊富な品揃え

創業100年以上の老舗。25年前、福岡から帰郷して4代目当主となったのが津田紀芳社長だ。当時は食料品や日用品を置く昔ながらの「百貨店」だったが、平成7年、専門店として生き残りをかけようと酒販に特化。入手困難な地酒や焼酎を豊富に揃え、ワインは仏産ボルドーとブルゴーニュに絞り込んだ。レアな商品を求めて市外から来店するリピーター客も多く、ネット販売や飲食店への販売にも力を注ぐ。

「私自身、お酒が好きで、おいしいものを飲みたいという気持ちで必然的にここに行き着きました。良さそうな蔵を見つけると商品を取り寄せて飲んでみて、気に入ったら蔵元さんに足を運んでお取り引きさせていただく。その積み重ねです。別府・大分の飲食店さんにも配達していますのでご相談ください」と津田社長。



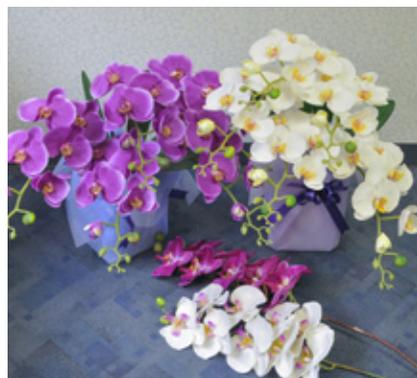
所 豊後高田市田染真中142-1
☎ 0978-26-2008
営業 9:00~19:00
休 日曜
P あり
<http://www.owl.ne.jp/%7etashibu/>



造花製作卸売業

株式会社 是永

花を愛する方は愛情豊か 季節ごとに飾ってほしい



美しい花はいつの時代も人々の心をつかんで放さない

開店祝いや葬儀などに使われる造花を中・四国から九州・沖縄まで広い範囲で卸している。自社製作のプラスチック製商品は1割程度で、布製のはコストの関係で中国からの仕入れが大半を占める。戦後間もなくまでは日本製の商品が世界中に卸されていたが、経済成長とともに製造の場が台湾や香港へ移り、現在は中国が主体となった。しかし、技術や質の高さ、ニーズの幅広さは日本に健在だ。

創業80年以上で、是永一弘会長は3代目。「けんしんさんにはずっと支えてもらってますよ(笑)。日本ではラン、ユリ、ボタン、カスミソウなどが好まれますね。花は和みですし、花を愛する方は愛情豊か。季節ごとに気軽に部屋のインテリアとして使ってほしい。花に興味がある方はいつでも連絡ください」と話す。



所 宇佐市長洲32
☎ 0978-38-0327
営業 8:00~17:00
休 土・日曜、祝日
P あり



食料品製造業

有限会社 近藤養蜂場

創業から100余年、 親子4代で日本伝統の 「転地養蜂」を継承



転地養蜂で採れる国産のはちみつは希少品

明治42年、国東で養蜂を始めて以来100余年、現在の近藤成明社長まで親子4代にわたって伝統的な「転地養蜂」を継承する。転地養蜂とは、蜜源の開花時期に合わせて日本列島を南は九州から北は北海道まで蜜蜂と花を追って縦断しつつ採蜜する方法。南北に長い地形と豊かな四季を持つ日本ならではのスタイルだ。

「転地養蜂によるはちみつは花の種類や咲き具合、採蜜場所により味が微妙に変わり、パリエーションも豊か。れんげ、アカシア、百花のはちみつのほか関連商品も揃え、ネット販売も行っています。皆様に採れたての美味しいはちみつを食べて健やかに暮らしていただきたいという『母の心』と、日本の養蜂業の技を伝えていきたいという真つすぐな『農の心』を持ち続けて仕事に取り組んでいます」と近藤社長。



所 豊後高田市草地8767
☎ 0978-22-2663
☎ 0120-223-183
営業 9:00~18:00
休 土・日曜、祝日
P あり
<http://www.832.co.jp/>

